

地域の「宝」を世界へ！

～ローカル局だからこそ出来ること～

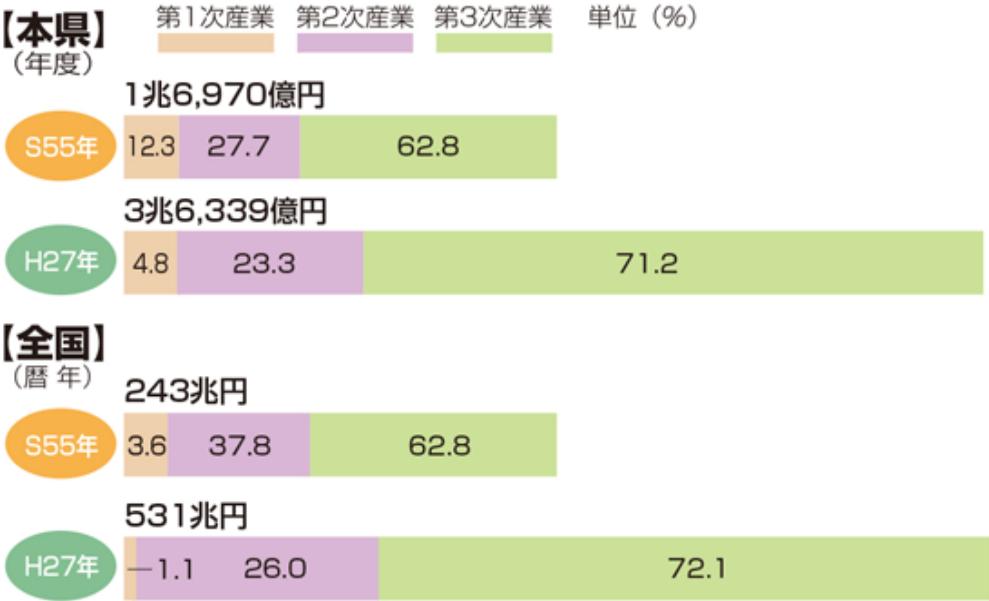
mrt宮崎放送 開局60周年ブランディング

ココから**照**ラス!

宮崎のひと・モノ・文化を再発見し、広く県内外や海外に発信するため、社内26市町村プロジェクトをスタート。

■宮崎県の状況

1. 県(国)内総生産(名目)



資料：「宮崎県県民経済計算」「国民経済計算年報」
 ※輸入品に課される税・関税等が加算控除されていないため、内訳合計は100%にならない。
 ※本県の昭和55年の値は68SNAに基づく値。それ以外は93SNAに基づく値。

- 県内総生産 3兆6,339億円
農業は1,388億円で全体の3.8%
- 県内農家人口は8万162人(総人口の7.3%)
農業就業人口は4万5,001人

1次産業は宮崎県の基幹産業



宮崎には世界に誇れる農畜水産物がたくさんあります！

■なぜ、ローカル局が地域商社を設立？



2010年～
宮崎－台湾定期便就航



大谷主水
(宮崎市出身)

宮崎や東九州を紹介する番組や
レギュラー番組を台湾のCATVで放送。

観光地や食など宮崎が誇る「宝」に高い注目が！

インバウンド番組等媒体を活用したプロモーションにとどまらず、台湾に**人・モノ・企業活動**を展開出来ないか？

宮崎や県内企業を **《プロモーション＋貿易》** で応援
ローカル局としての役割があるのでは？

■会社概要

mrt宮崎放送グループ

Trade Media Japan (株式会社トレードメディアジャパン)

宮崎本社 宮崎市橘通西4-1-32 MRTテラス5F

台湾支社 台北市信義路五段五號 台北世貿中心展覽大樓 5樓 5D17

【設立】2018年7月(同年10月に台湾支社開設)

【資本金】8,000,000円

【株主】MRT宮崎放送(50%)・宮崎銀行(2.5%)・宮銀地方創生ファンド(47.5%)

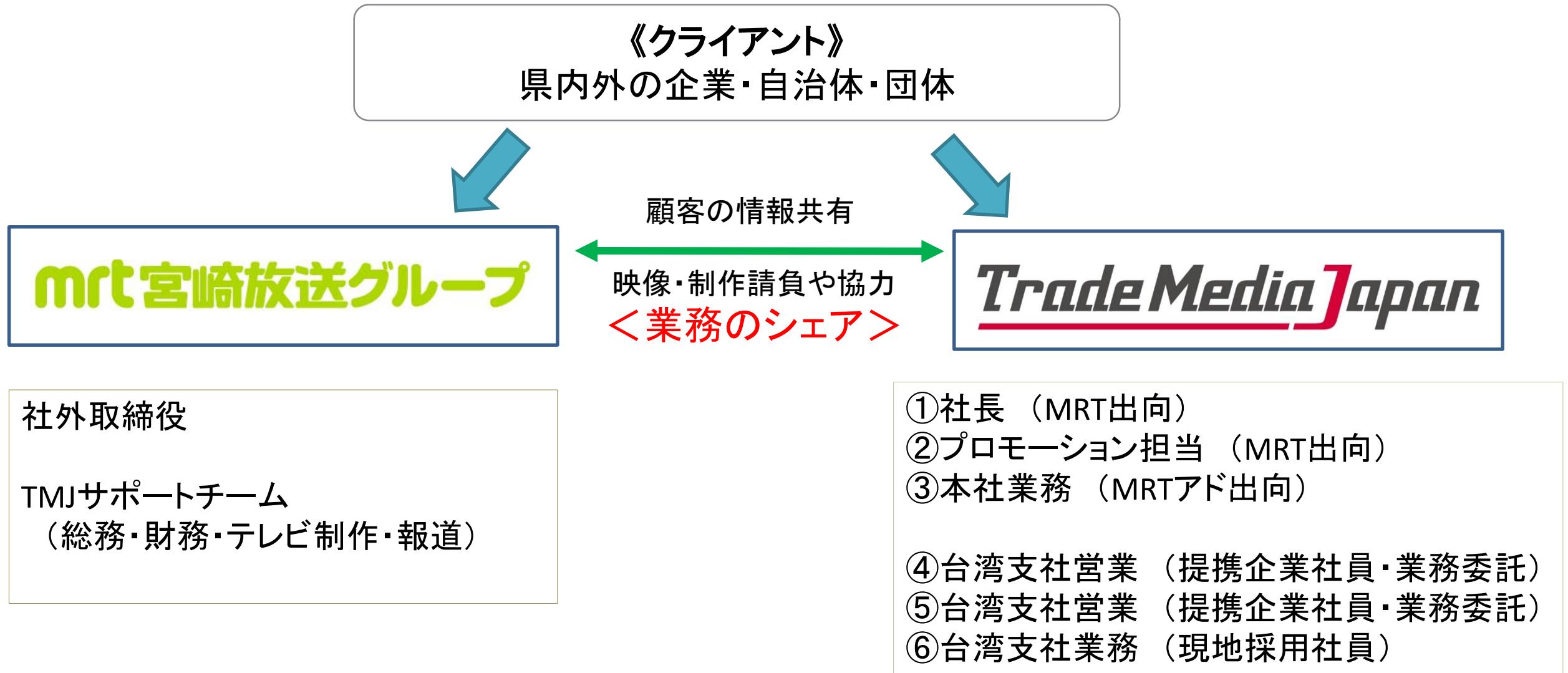


TMJ台湾支社にて

《プロモーション事業 & 商社事業がふたつの柱》

- 台湾のテレビ局、ネット会社と連携した販売企画やプロモーション(番組制作・テレビショッピング・ECサイトetc)
- 台湾支社を起点にバイヤーや卸先を開拓、流通・販売・卸売業を展開
- 台湾における商談会や物産展を実施し、宮崎の企業・団体・生産者の販路拡大を後押し

■ 業務フロー・運営体制



< 提携・アライアンス >

国内

新垣ミート・宮崎県漁連・宮崎県農協果汁・ヤマエ食品・大森淡水 他

台湾

吉力家(卸・小売)・第一名店(卸)
東森グループ(番組・テレビショッピング・ECサイト)・民視(台湾地上波・予定) 他

■今年度の主な活動状況

【商社事業】

<主な輸出実績(H30年10月~)>

- 宮崎県産牛肉
- メヒカリ等県産水産物
- 県内飲料メーカー商品
- 県内調味料メーカー商品 他



<課題>

- 支社開設の遅延、価格競争、厳格な原料精査、豚コレラ等疫病の発生など事業展開への障壁は多数
- 現地食品卸大手との業務提携を急ぎ、同社の物流・保管・販路を活用
- 商材の魅力化を図り、台湾をハブとした中国等アジア全域への販路開拓

■今年度の主な活動状況

【商社事業】



業務提携調印式(1月16日)

東森購物(台北市)



台日友好合作！東森購物、宮崎電視首度聯手 推廣魅力商品給兩地消費者



2020年01月16日 18:12

小 中 大

宮崎電視 × 東森購物・簽約儀式
株式会社宮崎放送 × 東森購物 調印式



▲東森購物、日本宮崎電視於16日簽訂完成合作備忘錄簽署。左起為東森購物執行長彭鴻斌、宮崎電視社長津隈佳三、TMJ社長高田智康。(圖/東森購物提供,以下同)

業務提携を知らせるニュースサイト

テレビショッピング・ECサイト

地場産品の映像 = ローカル局が持つ資産を活用

メディアの優位性を最大限に活用し、
台湾メディアとのアライアンスで、更なる商流の拡大を目指す

■今年度の主な活動状況 【プロモーション事業】



台湾・新竹市 宮崎フェア
2020年1月18日(土)～22日(水)
@遠東SOGO百貨新竹店
クライアント：宮崎市



我們將自行車騎向宮崎美麗的海岸線

サイクルツーリズム番組(仮)
2020年3月 放送予定
クライアント：宮崎県

【今後の予定】

- ・第一名店台北博覧会への出店(5月 / クライアント: 延岡市)
- ・チャイナエアライン就航10周年記念物産展(6月予定 / クライアント: 宮崎県)
- ・宮崎市・新竹市ランタン祭交流事業(8月 / クライアント: 宮崎市・宮崎市観光協会)
- ・その他県内各市町村や企業への働きかけを継続中

■評価と課題

クライアント・関係者の声

【プロモーション事業】

- ・現地でのコンテンツ効果・効率などのデータが収集できるため強い媒体の情報が収集しやすい
- ・媒体との親交があるため、生出演や取材など対応できる
- ・現地支社があるため一過性でなく、マーケティングリサーチなどアフターフォローができる
- ・現地支社があるため販促イベントや物産展なども実施可能

【商社事業】

- ・放送局を母体とする信頼性とプロモーションとの同時展開できる点に独自性がある
- ・現地通関、成分検査、中文ラベル作成等輸出手続き一切の業務引き受けが可能
- ・TMJとの国内(日本)取引及び決済であることの安心感
- ・現地の保管・物流も相談できる

ローカル局ならではの『信頼感』と『強み』がベース

mrt宮崎放送 × Trade Media Japan がもたらしたもの

1.ローカル局による「地域商社」の設立

- ・その先取性により高い注目が集まった → ローカル局としてのブランド向上

2.保有映像の有効活用で、地域の発信に貢献できる

- ・地域を知り尽くすローカル局ならではの膨大な資料映像を活用できる
 - ローカル局ならではの強みを生かした特長ある事業構築
 - **系列内外ローカル局との連携展開も視野に**

3.現地メディアとの協働・接点づくり

- ・県産品等を直接消費者に届けていく新たな商流づくり
- ・地域を一体的に広く発信できる唯一無二の手段
 - 自治体等と一体になった魅力づくりや試される番組制作力

4.自治体や県内外企業との連携領域拡大による本業への相乗効果

- ・クライアントとして重複するケースが多く、一体的に展開することで、広告収入への波及効果も期待できる

これまで以上に地域に貢献できるローカル局へ

■ 経営基盤強化策とするために必要な施策

輸出事業に付随したPR事業への補助金

産品を分かりやすくかつ魅力的に紹介できる映像は、輸出の促進にも直結する有効な手段であり、地域の産品についての知識と資料映像は有するローカル局が果たせる役割は大きいと考える。「商品輸出＋映像」のケーススタディを公募するなどの事業を設定し、映像制作に対する助成の実施を検討できないか。

**地域(宮崎県)と海外(台湾)を地場産品と放送コンテンツで
繋ぐことで地域の活性化に貢献**

ローカル局の存在意義